

社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会
(令和2年度第3回)議事概要

1. 日 時 令和3年3月9日(火) 14:00~16:00

2. 場 所 WEB会議

3. 出席者

[委員長]

屋井 鉄雄 (東京工業大学副学長)

[委員]

秋葉 正一 (日本大学生産工学部土木工学科教授)

大下 茂 (帝京大学経済学部観光経営学科教授)

鬼沢 良子 (NPO法人「持続可能な社会をつくる元気ネット」理事長)

久保田 尚 (埼玉大学大学院理工学研究科教授)

佐々木 淳 (東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)

谷口 綾子 (筑波大学システム情報系教授)

藤山 知加子 (横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授)

水野 創 (千葉県経済同友会副代表幹事)

[関東地方整備局]

道路部長 高松 諭

道路企画官 塩谷 正広

常陸河川国道事務所長 原田 昌直

首都国道事務所長 小林 達徳

道路計画第一課長 大胡 賢一

4. 議 事

(1) 挨拶

・ 関東地方整備局 道路部長

(2) 審議

令和3年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価

・ 新規事業候補箇所の選定の考え方

・ 新規事業候補箇所説明資料

一般国道6号 酒門町交差点立体

一般国道464号 北千葉道路(市川・松戸)

<委員からの主な意見等>

■ 令和3年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価

○ 一般国道6号 酒門町交差点立体

・ 新規事業化については妥当である。

- ・ 交差点の渋滞や事故件数が茨城県内でワースト1位であり、立体化を進め、早期に改善していくことが必要である。
- ・ 交差点の渋滞を避ける車両が周辺の通学路を抜け道として利用しており、立体化により通学路の安全性向上が期待される。
- ・ 代替案とした平面改良案は、コストが低くB/Cが大きくなる可能性があるが、採択した立体案の方が課題解決のための抜本的な対策であり、より効果が高いことを丁寧に説明すべきである。

○一般国道464号 北千葉道路（市川・松戸）

- ・ 新規事業化については妥当である。
- ・ 北千葉道路は千葉外環と成田空港を直結する最短ルートであり、整備により空港アクセスの向上や事故減少等多くの効果が期待される。
- ・ 北千葉道路の整備により成田空港アクセスの多重性が強化され、災害時の道路ネットワークの強靱化に寄与するものと考えられる。また今後のインバウンド観光需要に対応していくうえでも、必要な対策である。
- ・ 沿線には工業団地や工場が多くあるほか、Eコマースの進展に対応した新たな物流施設等の建設が相次いでおり、北千葉道路の潜在的な需要は非常に大きい。
- ・ 国道の事故減少のみならず、生活道路の安全性向上も期待される。
- ・ 事業を進めるにあたっては、整備効果に加え、周辺環境への配慮、都市計画の経緯等についても、地元丁寧に説明することが重要である。

以 上